

北中学校だより

校風

(かえで)

令和8年1月21日(水)

第53号 東金市立北中学校

〒283-0803 東金市日吉台 1-20

TEL 0475-50-2288

発行者：校長 久我 和廣

学校教育目標

創 【未来を拓く】

～輝く瞳、笑顔とあいさつ、光る汗～
めざす生徒像

「考え、行動し、夢をもって成長する」生徒

- (1) 学び合い、高め合う生徒⇒輝く瞳・・・(知)
- (2) 認め合う、心豊かな生徒⇒笑顔とあいさつ・・・(徳)
- (3) 心身共に健康な、たくましい生徒⇒光る汗・・・(体)

校訓 自分らしさを光らせて

めざす学校像

- (1) 学力向上に努める学校
- (2) あいさつと歌声が響く学校
- (3) 安全で安心してすごせる学校
- (4) 地域とともに歩み、信頼される学校



違うから、すばらしい！！
違うから、仲良くしよう！！

ぞうさん ぞうさん おはながながいのね
そうよ かあさんも ながいのよ
ぞうさん ぞうさん だあれがすきなの
あのね かあさんが すきなのよ

上の作品は、詩人の「まど みちお」さんの書いた、誰でも知っている「ぞうさん」という童謡です。「まど みちお」さんは、この詩の意味をこう解説しています。

ぞうの子は、鼻が長いねと悪口を言われた時に、しよげたり腹を立てたりする代わりに、一番好きな母さんも長いよと誇りをもって答えた。それは、ぞうがぞうとして生かされていることが、すばらしいと思っているからです。だからこの歌は、「ぞうに生まれてうれしい」と思っているぞうの歌なのです。目の色が違うから、肌の色が違うから、すばらしい。違うから、仲良くしようということです。

私たちは幼い頃から、この童謡を何気なく口にしてきました。しかし、この童謡が「もっともっと強く自分に自信をもとう」ということを伝えている歌であること、また、「違うことに自信をもって生きる姿勢」を歌った童謡であることなど、一度も考えたことなどなかったのではないのでしょうか。「まど みちお」さんは、2014年2月に104歳で亡くなりました。100歳を過ぎるまで、優しい言葉で詩や文章を書き続け。多くの人に勇気を与えました。「まど みちお」さんの「違うから、すばらしい！！違うから、仲良くしよう！！」という精神は、生きとし生けるもの全ての価値に通じるものなのです。子どもたちは、これからの生活の中で、友だちとうまくわかり合えない時も多いかと思えます。そんな時、「私も、あの子も、違う人間として生きているんだ。

だから、すばらしい。だから、仲良くしよう！！」と考えられたら、誰かをいじめたり、からかったり、憎んだり恨んだりする場面も減ってくるのではないのでしょうか？子どもたち一人一人が、これからの人生を、「生きているというすばらしさ」や「生かされている価値」を感じながら、自分に自信をもって歩んでいって欲しいと思います。

～参考：「偉人・著名人の言葉で語る校長講話」教育開発研究所～

各種大会結果

☆ソフトテニス部

山武郡ソフトテニス1年生大会

秋元 晴大(1年2組) 芦川 倖大(1年2組)
5位入賞
松ヶ谷悠仁(1年1組) 浦川 匠巳(1年1組)
1回戦惜敗
遠藤 隼(1年1組) 川口 勇進(1年2組)
1回戦惜敗

☆卓球部

山武郡市カデット卓球大会

男子中学生1年生の部

鈴木 駈(1年2組) 1回戦惜敗
加瀬 凱都(1年2組) 2回戦惜敗

男子中学生2年生の部

平山 琉生(2年1組) 2回戦惜敗
鈴木 一主(2年1組) 1回戦惜敗
モハメドユースフ(2年1組) 1回戦惜敗
緑川 遥斗(2年1組) 1回戦惜敗

☆陸上競技部

千葉県中学校新人駅伝大会山武地区代表選考会

出場選手

大木煌乃助(2年1組)
高橋 郁人(1年1組)
池田 幸石(1年1組)
齊藤 奨真(1年1組)
齊藤 龍玖(1年1組)
遠藤 隼(1年1組)

